



～HTLV-1 をゼロに～

HTLV-1 ウイルスの感染者は国内で約 100 万人で、その中から ATL (成人 T 細胞性白血病) や希少難病 HAM (HTLV-1 関連脊髄症) を発症する人がいます。それを防ぐために母乳に含まれるウイルスを子供に感染させないように「母子感染予防対策」が施行されました。国は、感染した母親に対し、生まれた赤ちゃんに母乳を与えずに粉ミルクで育てるように推奨しています。母子感染予防対策のおかげで子への感染を最小限に防ぐことができます。しかしながら母親には精神的な負担が大きく、悩みを相談できる体制作りが重要な課題でした。

鹿児島市の取り組みをモデルケースに！

ママと未来を守る

【ミルクサポート事業】とは

2018 年 4 月に鹿児島市で「未来を守るミルク支給事業」としてスタートしました。HTLV-1 ウイルスに感染した母親に対し、**粉ミルクを支給する**事業です。

ミルクの受け渡しに保健師が対応することで、**顔の見える関係の相談体制**ができます。経済的負担を軽減するだけでなく、**保健所(保健センター)との相談体制構築を目的としたサポート事業**です。

- ① 母子感染が分かったときに、母親が粉ミルクを選択しやすくなる。
- ② 保健所(保健センター)と繋がることで、キャリアである自分の相談の受け皿ができる。
- ③ 社会が支援するという意思表示になり、孤立しがちな母親の不安が軽減し、周囲の理解が得られやすくなる。
- ④ HTLV-1 感染予防について、配偶者や家族が母親だけの問題ではないことの気づきになる。
- ⑤ 相談窓口としての保健所(保健センター)の役割が明確になる。

この事業が定着すれば、行政や一般市民に HTLV-1 ゼロを目標に「知ることからはじめよう！」という啓発の 1 歩になります。

このチラシは NPO 法人スマイルリボン・キャリアママの会「カラニコエかごしま」の発案で作製しました。この事業拡大のためにご利用ください。全国の地方自治体で採用されますように願っています。

【連絡先】NPO 法人 スマイルリボン

TEL 099-800-3112/FAX099-218-4871

メール nakusukai@po.minc.ne.jp ホームページ <http://smile-ribbon.org/>

